

平成16年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 126 ※記入不要	提案機関名 神奈川県農業協同組合中央会
要望問題 BSE（牛海綿状脳症）発生にともなう疑似患畜の生前診断法の開発	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】	
<p>背景 BSE 発生時に執られる疑似患畜の全頭屠殺による検査は、畜産農家にとって長年培ってきた経営基盤の崩壊につながりかねない措置である。疑似患畜の全頭屠殺による検査からは過去6例とも BSE は発見されていないこと、及び感染源は飼料からの経口感染のみで空気感染はないことから、納得がいかない措置が執られているように考えられる。</p> <p>内容 BSE 発生時の全頭屠殺を回避するには、生前診断法があれば有効なので、早急に解決のための試験研究をしていただきたい。独立行政法人農業技術研究機構動物衛生研究所プリオン病研究センターとの共同研究も考慮していただきたい。</p> <p>対象地域 県下全域の牛飼育農家の 23, 000 頭</p>	
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内 ④5～10年以内
研究対応区分	①研究所対応 ②委託研究 <input checked="" type="checkbox"/> ③共同研究 ④その他
対応を希望する研究機関名	①農業総合研究所（ ②根府川試験場 ③三浦試験場 ④津久井試験場 ） ⑤畜産研究所 ⑥水産総合研究所（ ⑦内水面試験場 ⑧相模湾試験場 ） ⑨自然環境保全センター

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	畜産研究所
部 署	畜産工学部
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 <input checked="" type="checkbox"/> ⑦実施不可
試験研究課題名	(①、②、④の場合)
対応の内容等	<p>BSEに関する研究は、わが国では（独）農業技術研究機構動物衛生研究所プリオン病研究センターが一元的に実施しております。各都道府県では、BSE発生時の材料提供等の協力を行っており研究については実施しておりません。</p> <p>ご要望がありました BSEの生前診断についての研究は、特別な隔離実験施設が必要であり、現在、当所での対応はできないと考えております。</p> <p>なお、現在、プリオン研究センターでは、牛へのBSE感染感染を行って異常プリオンの体内の蓄積過程等を解明することにより、生前診断法の早期開発に取り組んでいるところです。</p>
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
備考	